

(3)
農
安

農
安

S 1.1.1.0-8

3549

0478

REEL No. A-0077

0301

アジア歴史資料センター

一三二

昭和六年十一月四日

在農安

分館事務取扱 水野長作

昭和六年十一月拾日

外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

朝鮮人保護方、関シ交渉ノ件

東支南部沿線双城堡附近(哈爾濱管内)ニ於テ朝鮮人ノ居住者アリトノ新聞記事ヲ見タルヲ以テ客月三十(日)金公安局長ヲ往訪シ當館管内農安縣靠山屯居住朝鮮人ノ保護方ニ関シ充分ノ注意ヲ喚起シタル處金局長ハ管轄第二公分局長ニ嚴達シ保護方ニ就キ萬遺憾ナキヲ期スル旨言明シ

在長春日本領事館農安分館

タリ

尚ホ今回ノ事件發生以來當館管内居住朝鮮人ニシテ被害ヲ蒙リタル者ナシ

右何等為御參考報告申進ス

本信字送付先

在長春領事

在奉天總領事

0510

8 1.1.1.0-8

3551

8 1.1.1.0-8

3550

0479

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人文

文書

會計

寫送先

(分類 A.1.1.0.2-1)

昭和6 二〇五九一 暗

農安

本省

十一月二十四日

水野事務取扱

第三號

實電第三二八號ニ關シ

當管内ニハ民會新設ノ要ナシ

記帳簿
十一月二十四日
午後
事務取扱
一件

亞

外務省

S 1.1.1.0-8

3552

0480

REEL No. A-0077

0303

アジア歴史資料センター

電信寫

Space 祕

昭和7

暗

農安
本省

三月廿八日 前着

亞

芳澤外務大臣

田島事務取扱

第五號

往電第四號ノ如ク婦女子等ヲ長春へ避難セシメタルカ殘留邦人ハ現
在館員四名、地方人三名、鐵道警備隊員十九名ニシテ危險切迫セル
場合ハ一同ヲ當館ニ收容ノ上救援日軍ノ到着ヲ待ツ計畫ナルモ若シ
救援軍ノ出動不可能ナルニ於テハ或ハ一時當館ヲ閉鎖シ在留民一同
ヲ引繼メ長春迄引揚クルノ已ムヲ得サルニ至ルヤモ計リ難キニ付豫
メ御承認相成度シ

(轉電先脱?)

6 1.1.10-8

3555

0483

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

次官
大臣
亞細亞

電信課長

(分類A.1.1.0.21-1)

昭和7 七八八一 暗 長春
本省 三月三十日 發着 亞

芳澤外務大臣
第一〇二號
田代領事

在電第一〇一號ニ關シ
館員外一同午後五時二十分無事密門ニ到着セル趣電話アリタリ
支、北平、奉天、吉林、哈爾濱へ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

3557

0485

記

記録人名簿洲日... 在多数人係及引揚同係

外務省

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

次官
大臣
亞細亞

電信課長

(分類A.1.1.0.21-1)

昭和7 七八四五 暗 長春
本省 三月廿九日 發着 亞

芳澤外務大臣
第一〇一號
田代領事

在電第一〇〇號ニ關シ
只今(午後二時二十五分)接到ノ農安電報ニ依レハ在留邦人全部血
路ヲ求メテ脱出シ密門ニ向ヒタル趣ナリ
支、北平、奉天、吉林、哈爾濱へ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

3556

0484

記

記録人名簿洲日... 在多数人係及引揚同係

外務省

寫送先

1.1.1.0-8 / 會文人文情條通歐亞細亞米

大臣 次官

電信課長

昭和7 八〇四三 暗

長春 本省

四月 卅一日 後發 一日前着

亞

芳澤外務大臣

第一〇七號

田島ヨリ左ノ通り

前電ニ關シ農安ハ既ニ匪賊ノ爲包圍セラレタルカ救援軍ノ出動遅延シ且ツ討伐官兵ニ戰意ナク又何時匪賊ニ竄返ルヤモ計リ難ク察セラレタル等愈々危險逼迫シ一時引揚クルノ已ムナキ事情ニ差シ迫リタルモ引揚ケ途中ノ危險ヲ考慮シ焦燥ノ思ヒニテ救援ノ來到ヲ待チ居リタル際廿九日正午長春田代領事ヨリ軍隊ノ急派望ミ薄キ旨電報ニ接シ茲ニ一時當館ヲ閉鎖シ血路ヲ開キ農安脱出ヲ決意シタルカ脱出

S 1.1.1.0-8 3559

0487

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞細亞米

大臣 次官

電信課長

昭和7 七九一六 暗

長春 本省

三月三十日 前發 後着

亞

芳澤外務大臣

第一〇三號

往電第一〇二號ニ關シ

田島警部外館員竝ニ警官隊三十日朝無事當地ニ引揚ケタリ尙農安方面剿匪ノ爲今朝當地ヨリ野砲二門ヲ有スル守備隊二個中隊、哈爾濱ヨリノ一個大隊ハ米沙子ニ下車何レモ徒歩出發セリ
公使、北平、奉天、吉林、哈爾濱ニ轉電セリ

S 1.1.1.0-8 3558

0486

外務省

滿洲 日支軍衛安事... 田代領事

ニ當リ包圍中ノ匪賊ニ遭遇スル危險アリタルト自動車ノ不足ハ荷物
ノ擄行ヲ許サス尙引揚及附近支那人若ハ官兵匪賊等ニ依リ掠奪ヲ受
クルヤモ計リ難キ實狀ニアリタル爲已ムナク末木巡查立會ノ上電信
暗號簿機密書類等ヲ燬却シ尙官有財産及在留民ノ遺留品ニ關シテハ
出發ノ際書翰ヲ以テ(官有財産ハ目錄添附)縣知事及公安局長ニ監
守保管方ヲ依頼シタル後午後三時在留官民ヲ引纏メ長春派遣ノ警官
隊及鐵道警備隊等ト共々農安ヲ出發匪賊ノ包圍ヲ突破シ卅日無事長
春領事館ニ引揚ケ不取敢同館内ニ假事務所ヲ設置セリ
公使、北平、奉天、吉林、哈爾濱へ暗送セリ

外
務
省

S 1.1.1.0-8

3560

0488

REEL No. A-0077

0308

アジア歴史資料センター

電停發電請

1.1.0.21-1

電 信 業	聯 名 家 三 六 二 必 要 申 請 轉 報 ア リ 度	在 歐 大 使 ト 關 係 シ テ	新 報 行 正 通 リ	長 春 環 本 大 臣 矣 電 報 第 一 〇 七 号	暗 電 送 第 6997 6998 號	主 管
					昭和7年4月1日 午後10時25分發	電信課長
外 務 省	合 第 九 〇 七 號	件 宛	海 洲 西 洲 狀 况	壽 福 田 為 良 在 米 出 洲 方 候	發 件 名 記 滿 洲 軍 變 在 函 邦 人 保 護 引 揚 避 難 及 被 害 保 護 引 揚 及 避 難 保 護 費 等	了 任 主 了 了 昭 和 七 年 四 月 一 日 起 草
					發 件 名 記 滿 洲 軍 變 在 函 邦 人 保 護 引 揚 避 難 及 被 害 保 護 引 揚 及 避 難 保 護 費 等	了 任 主 了 了 昭 和 七 年 四 月 一 日 起 草

1.1.1.0-3

3561

0489

REEL No. A-0077



アジア歴史資料センター

秘

○送
○筋
○手

電信寫

昭和十一年四月一日前着 車

芳澤外務大臣

第十一〇七號

田島ヨリ左ノ通り

前電ニ關シ、農安ハ既ニ匪賊ノ爲包圍セラレタルカ救援軍ノ出動遅延
シ且ツ討伐官兵ニ戰意ナク又何時匪賊ニ寢返ルヤモ計リ難ク察セラ
レタル等歟、危險逼迫シ一時引揚クルノ已ムナキ事情ニ差シ迫リタ
ルモ引揚ケ途中ノ危険ヲ考慮シ焦燥ノ思ヒニテ救援ノ來到ヲ待チ居
リタル際廿九日正午長春田代領事ヨリ軍隊ノ急派望ミ薄キ旨電報ニ
接シ茲ニ一時當館ヲ閉鎖シ血路ヲ開キ農安脱出ヲ決意シタルカ脱出

ニ當リ包圍中ノ匪賊ニ遭遇スル危險アリタルト自動車ノ不足ハ荷物
ノ携行ヲ許サス尙引揚及附近支那人若ハ官兵匪賊等ニ依リ掠奪ヲ受
クルヤモ計リ難キ實狀ニアリタル爲已ムナク末木巡査立會ノ上電信
暗號簿機密書類等ヲ燒却シ尙官有財産及在留民ノ遺留品ニ關シテハ
出發ノ際書翰ヲ以テ(官有財産ハ目錄添附)縣知事及公安局長ニ監
守保管方ヲ依頼シタル後午後三時在留官民ヲ引繼メ長春派遣ノ警官
隊及鐵道警備隊等ト共々農安ヲ出發匪賊ノ包圍ヲ突破シ卅日無事長
春領事館ニ引揚ケ不取敢同館内ニ假事務所ヲ設置セリ
公使、北平、奉天、吉林、哈爾濱へ暗送セリ

S 1.1.1.0-8

3563

S 1.1.1.0-8

3562

0490

REEL No. A-0077

アジア歴史資料センター

方子

情報部

人事課

引揚

機密公第五二號

昭和七年四月廿日

在農安(長春滯在中)
分館事務取扱 田島周



外務大臣 芳澤謙吉 殿

當館ヲ閉鎖シ引揚ニ至リタル情況報告ノ件

本件ニ關シテハ公信第四五號乃至第四七號往電第三號乃至第六號既
報ノ通りニシテ重復ニ亘ル嫌ナキニアラサルモ左記ノ通り報告申進
ス

本信寫送付先 長春領事

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8 3564 0491

長春市警署ニ於テハ引揚ノ消息ハ(場内)

記

一、引揚ニ至ル迄ノ匪賊ノ情況
一、重要書類、官有財産及在留民ノ遺留財産ニ對スル處置

一、引揚ニ至ル迄ノ匪賊ノ情況
滿洲事件ニ伴ヒ大部隊ノ匪賊隨處ニ跳梁シ人心恟々トシテ寧日ナ
ク時恰モ新國家ノ建設ヲ見ントスル時ニ當リ元馬占山ノ部下ニシ
テ旅長ノ職ニテリタル李忠義(一名李海青)ヲ盟主トスル匪賊ニ
千五百名ハ山砲機關銃自動車等ヲ備ヘ抗日救國ヲ標榜シテ扶餘縣
ニ迫ルマルト傳ヘラレ之カ討伐ノ爲農安駐屯吉林警備騎兵第一旅
長玉珉ハ麾下三百名ヲ率ヒテ三月十日扶餘方面ニ出動シタルガ全
十六日全地縣城ニ宿營中右匪賊團ノ爲ニ包圍セラレ衆寡敵セス遂
ニ商團側ノ斡旋ニ依リ匪賊側ノ妥協申込ヲ入レ全地駐屯騎兵第一

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8 3565 0492

團（團長陳寬樹）ト共ニ城外三十支里ノ地點ニ後退スルノ止ムナ
キニ至リ全地ハ完全ニ匪賊團ノ爲ニ占據セラル、ニ至レリ
右事實ハ三月十八日情報トシテ聞込ミタル處ナルカ當時農安城附
近拉々屯趙家溝前范家店地方ニ百名乃至四百名ノ馬賊現ハレ現ニ
長農街道ニ於テハ鐵道測量班援護隊ニ射撃ヲ加ヘタル事實アリタ
ル外城内ノ警備手薄ナルニ乘ジ農安城攻略說サヘ傳ヘラレ旁々市
内ハ頓ニ動搖ヲ來セル虞ヨリ支那側有力官民ハ鳩首協議ノ結果地
方部落ヲ犠牲ニシ專ラ城内ノ防備ヲ充實スベク高家屯、靠山屯等
ニ駐屯スル騎兵部隊二箇連ヲ招致シテ嚴重警戒スルト同時ニ熙洽
長官宛援軍ノ出動ヲ要請シタリ

越テ三月二十一日ニ至リ扶餘方面ノ匪賊ハ大小馬賊ヲ糾合シ一面
陳團長ニ隸屬スル討伐隊ノ大半ハ該匪賊ニ寢返リ其勢力忽チ六七
千ニ達シ其一部隊ハ農安ヲ目標ニ漸次南下シツ、アリト傳ヘラレ
戰々恟々タル矢先劉旅長ハ全夜半突如討伐隊ノ大部分ヲ率ヒテ歸
還シ續テ二十二日陳第一團長モ僅々十數名ノ部下ヲ引具シ深夜入

在長春日本領事館

0493

3566

8 1.1.1.0-8

城シタル爲茲ニ賊軍優勢ニシテ討伐不可能ナルコト並ニ陳團長靡
下ノ寢返リ說ヲ裏書シ城内ハ極度ノ不安ニ陥リタルカ當時大川中
尉ノ率ヒル鐵道守備隊來援スト報セラレ市内ハ稍々平靜ニ復シタ
ルモ二十五日全部隊四百名愈々着農セントスルニ及ヒ其ノ來農目
的ハ馬匪賊討伐ノ爲ニアラスシテ鐵道測量班援護ノ爲ナルコト判
明シ且馬賊ヨリ歸順セル素賢劣惡ノ部隊ナルコト曝露シ城内ハ再
ヒ不安ニ陥レトタリ然シテ全部隊ハ二十七日張家灣ニ向ケ引返シ
タルカ僅カニ近郷ニ出沒セル前記馬賊ヲ驅逐スルコトヲ得タルノ
ミニテ一方匪賊李海青軍ニ對シテ何等ノ脅威ヲモ與ヘザルノミナ
ラス却テ南下說ハ漸次濃厚トナリ二十五日王府方面ノ電話不通ト
ナリ翌二十五日午後ニ至リ該匪賊約四五千ハ抗日義勇軍ト記セ
ル旗ヲ樹テ農安ヲ距ル北方八十支里劉家店ニ現ハレ一氣ニ農安ヲ
陥レ長春ヲ屠ルヘシ我目的ハ新政府ノ轉覆ト日本人屠殺ニアリト
豪語シテ居ル旨ノ情報ニ接シタリ
小職ハ此ノ情報ニ依リ事態容易ナラスト思料シ直ニ旅團部副官

在長春日本領事館

0494

3567

8 1.1.1.0-8

長ニ就キ實否ヲ確メタルニ全副官長ハ右ハ哈里海城子保衛團ヨリノ確報ニテ目下一箇連ヲシテ監視中ナルカ不取敢熙哈長官宛援軍急派方電請セリ尙旅長ノ意思ナリトテ現在當地ニ在ル軍警ハ僅々千五百名ニ過キスシテ攻勢ニ出ツル能ハサルニ付退テ當城ヲ固守スルノ外ナシ出來得ベクンハ日軍ノ援助ヲ仰キ度ト語レリ依テ小職ハ死力ヲ盡シ善處セラレ度旨旅長ニ傳達方依頼シテ歸^館不取敢閣下及長春田代領事宛事態樂觀ヲ許サ、ル旨電報シ鐵道測量班援護隊ト協力警戒ニ努メタリ

二十七日哈里海城子方面電話不通トナリ賊軍ハ南下ヲ持續シ居ルノ報アリタルカ偶々午後二時頃鐵道測量班ハ農安ノ北方四十支里ノ地點ニ於テ賊軍ノ尖兵ニ遭遇シ作業ヲ中止シテ引揚ケ來レル等事態愈々逼迫シ來レルヲ以テ猶豫ナク婦女子ヲ避難セシメタルカ全夜匪賊ノ大部隊ハ農安ノ北方二十支里興隆鎮ニ進出シ來レリトノ情報アリテ城内ノ動搖甚シク前日同様徹宵警戒ニ努メタリ二十八日午前中邦軍飛行機二台來援敵陣地ノ爆撃ヲ行ヒ更ニ長春

在長春日本領事館

警官隊ノ着農ニ依リ意ヲ強クシタルカ全日午後四時ニ至リ熙哈長官ヨリ劉旅長宛輸送シ來レル彈丸二十萬發ハ長農街道ニ於テ匪賊ノ爲奪取セラレ之ガ奪還方ニ關シ劉旅長ヨリ鐵道測量班援護隊ニ應援方依頼アリ(隊長中村中尉ハ既ニ軍部ヨリ劉旅長援護ノ命ヲ受ケ居タリ)全隊ヨリ長春警官隊ニ交渉アリタル結果兩隊ハ支那官兵六十名ニ應援出動シ農安ヲ距ル南方六支里兩爺門ニ於テ約五百ノ匪賊ニ遭遇シ一時全滅ヲ傳ヘラレタルガ午後六時三十分一同無事歸還シ得タルハ眞ニ僥倖ナリト云フベキモ匪賊ハ既ニ疾風迅來的ニ長農街道ヲ完全ニ扼シテ電信電話線ヲ切斷シ尙西方十支里ノ部落及東方十五支里ノ部落又敵手ニ陥リタリトノ情報アリテ茲ニ農安城ハ全ク匪賊ノ爲包圍セラル、ニ至リタリ此時城内防備ノ支那官兵ハ巡警隊保衛團等ヲ合シテ一千五百名ニシテ匪賊ノ總數約五六千名ト稱セラレ而モ城兵ニ戰意乏シク兵器ノ點ニ於テ亦劣リ農安城ノ陷落ハ單ニ日時ノ問題トナリ若シ救援軍ノ來到遲^クンカ左ナキダニ戰意乏シキ城兵ハ匪賊ニ寢返ルノ虞濃厚ナルノミ

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

356g

0496

S 1.1.1.0-8

356g

0495

ナラス鐵道測量班援護隊員或ハ長春警官隊員等ノ巡察ニ際シ罵倒
的言辭ヲ弄スル城兵アリ或ハ日人雇傭ノ支那人ハ擧殺セラルヘシ
等ノ謠言起リ不安ト動搖ハ其極ニ達シタルモ既ニ脱出不可能ノ狀
態ニ陥リ只管救援日軍ノ來到ヲ待ツノ一事アルモノニテ急險刻々
迫ル感アリタリ

明クレバ二十九日早朝飛行機ハ當館々庭ニ旅長宛ノ通信筒ヲ落下
シ更ニ敵陣地ノ爆撃ヲ行ヒタルガ天候不良ノ爲間モナク引返シタ
ル儘飛來セズ一面包圍中ノ一部匪賊ハ東北陽ノ城壁ニ漸次肉迫シ
來リテ何時火蓋ハ切ラル、ヤモ難斗狀態トナリタルカ全日正午十
二時待ツコト急ナリシ救援日軍ノ急派困難ナリトノ悲報ニ接シ當
初ノ籠城計畫ヲ一變シテ農安城ヲ脱出シタリ

當館ヲ一時閉鎖シ引揚クルノ已ムナキニ至レル事情

前記ノ匪賊ニ關シテハ公信及電報ヲ以テ報告シ尙長春領事館トハ
電話ヲ以テ連絡シ救援軍出動手配方依頼スル他面迅速ナル匪賊ノ
行動ニ鑑ミ二十六日在留民ニ對シ遺留財産目錄ノ調製ヲ催シ二十

在長春日本領事館

七日不取敢婦女子八名男子一名測量班十三名ヲ長春ニ避難セシメ
更ニ當館並ニ在留民ノ引揚ヲ爲スベク長春領事館ニトラツクニ命
急送方依頼シ重要書類等整理中全夜全館ヨリ軍部側ニ於テハ哈爾
濱ニ駐屯スル歩兵一箇大隊野砲一箇中隊ヲ出動セシムル意嚮ナル
カ不取敢長春守備隊一箇中隊山砲一箇小隊ヲ配屬シテ直ニ出發セ
シムベク目下馬車徵發中尙明日警部補以下二十三名ノ警官隊ト裝
甲自動車ヲ送ル旨通報アリタルヲ以テ遅クトモ二十九日若クハ三
十日迄ニハ右救援部隊ハ確實ニ到着スルモノト信シ一面四圍ノ情
勢ハ數日間ノ籠城ニ耐ヘ得ヘク觀察セラレタルヲ以テ茲ニ當館ハ
鐵道測量班援護隊ト聯絡シ在留民三名ト共ニ籠城ノ計畫ヲ建テ諸
般ノ準備ヲ進メタリ

翌二十八日午後一時三十分豐增警部補以下二十三名ノ武装警官隊
來着シタルガ此時既ニ長農街道ハ危險ナリトノ情報ニ接シタルト
一面全警部補ノ齋セル確報ナリト云フヲ聞クニ日本軍部ノ意嚮ハ
長春ノ前線トシテ農安ヲ固守スル管ナリトノコトナリシヲ以テ事

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

3571

0498

S 1.1.1.0-8

3570

0497

態時々敵迫シツ、アリト雖引揚途中ノ危険ヲ考慮スルトキハ寧ロ止マリテ城兵ノ疲返リ防止ニ努力シ萬一ノ場合ハ邦人一同當館ニ籠城一致協力防備ニ努メナハ救援軍ノ來到迄當館ヲ支持スルコト亦容易ナルベシトノ信念ノ下ニ益々籠城ノ決意ヲ固メ旅長ニ對シテハ一兩日中ニ日軍來援ノ旨ヲ告グ且部下ニ宣傳シテ士氣ヲ鼓舞セシムルト同時ニ疲返リ防止ニ關シ注意ヲ喚起シタリ

然ルニ全夜長春領事館ヨリ皇軍派遣方手配中ナリトテ前電出發ノ爲馬車徵發中ナルニ比シ著シク逆行セル入電ニ接シ一同失望ノ底ニ撞着シタルカ尙一應救援軍出動ノ日時ヲ確メタル後最後ノ進退ヲ決スヘク測量班~~改~~護隊長中村中尉ヨリ直接軍部宛飛~~打~~電セシメ返電ヲ待チ詫~~ヒ~~ツ、夜ヲ徹シ二十九日ニ至ルモ何等ノ返電ナク更ニ小職ヨリ長春田代領事宛照會セントシタルモ無電ニ故障アリ修理中ニテ全ク通信不能ノ儘空シク時ノ經過ヲ待チタルカ正十二時ニ至リ閣下ヨリノ訓電(第 三 號)ニ接スルト同時ニ長春田代領事ヨリ相當部隊急派困難ナル旨通電ニ接シタリ惟フニ軍部ノ

在長春日本領事館

8 1.1.1.0-8

3572

0499

都合上爾アルヘキモ事態ハ此儘空シク推移スルニ於テハ城兵ノ疲返リハ寧ロ當然ナルカ如キ實情ニアリタルヲ以テ既ニ救援軍ノ出動望ナキニ於テハ座シテ死ヲ待ツヨリ寧ロ萬一僥倖ヲ得ミ進ンテ血路ヲ求ムルニ如カスト思料シ茲ニ籠城計畫ヲ一變シ長春警官隊トモ談合ノ上一時モ早ク農安ヲ脱出スルコトニ決シ即時在留民ニ引揚ヲ勸告シ豫テノ手筈ニ依リ重要書類ノ始末ヲ了シタル後卒日午後三時十五分當館ヲ一時閉鎖シ館員四名、在留民三名、警官隊二十三名測量援護隊二十一名計五十一名ハ各自武裝ヲ整へ自動車六台ニ分乗シ何レモ悲慘ノ覺悟ヲ以テ農安城ノ南門ヨリ突出シ直ニ間道ヲ辿リ途中約四百名ノ匪賊ヨリ襲撃セラレタルモ幸ニ交戦スルニ至ラズシテ危地ヲ突破シ卒日午後六時張家灣ニ安着翌三十日長春ニ引揚タリ

重要書類、官有財産及在留民ノ遺留財産ニ對スル處置
四圍ノ情況以上ノ通りニシテ一時重要書類ヲ携帯シ安全ニ引揚ヲ爲スヘク手配シタルモ匪賊ノ行動迅速ナリシト交通ノ不便ハ逐ニ

在長春日本領事館

8 1.1.1.0-8

3573

0500

其機會ヲ失シ次テ籠城ノ計畫ニテ進ミタルモ實行不可能ニ陥リ愈々強行引揚ノ已ナキ事情ニ差迫リタルカ途中包圍中ノ匪賊ニ遭遇スル危險アリタルノミナラス交戦情態ニ陥ルヤモ難斗ト思料シタルト一面自動車ノ不足ハ荷物ノ携帶ヲ許サズ尙一且引揚ケンカ忽チ不良支那人若クハ官兵匪賊等ノ爲ニ掠奪ヲ受クル處アリタル爲已ムナク豫テノ手筈ニ依リ燒却處分ニ附スルコトニ決シ經伺ノ違ナク二十九日午后零時二十分末木巡查ノ立合ヲ求メ先ツ目錄ニ照會シタル電信暗號^符及開館以來ノ來往電綴ニ石油ヲ侵透セシメタル後ペー^チ力中ニ投入完全ニ燒却シ次テ署員一同ノ手ヲ借り機密信全部普通信ノ一部ヲ右同様ノ方法ニテペー^チ力及^オンドル中ニテ燒却何レモ殘片ヲ認メサル迄嚴重監視シタリ

然シテ官有財産及^在留民ノ遺留品ニ關シテハ公安局長ノ立合ヲ求メ保管方依頼スル管ナリシモ引揚ヲ豫告スルニ於テハ日本軍ノ來援絶望ナルヲ察シ城兵ノ寢返リ或ハ出發ノ阻止等如何ナル事態ヲ惹起スルヤモ難斗思料シタルニ依リ愈々出發セントスルトキニ

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

3574

0501

至リ書翰ヲ以テ(當館官有財産ハ目錄ヲ添付シ)縣知事及公安局長宛看守保管方依頼シ置キタリ

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

3575

0502

人事課

機密公第...
昭和七年五月十八日

在農安(長春帶在中)

介領事務取扱 田島 肉平



外務大臣芳澤謙吉殿

當分領復帰、時期、関スル件

當分領ハ本年三月廿九日一時農安ヲ引揚ケ
尔来長春ヲ帶在中、処容月二日日本軍農
安入城後復帰、機會ヲ窺ヘ居リタシ先本
月一日同軍ハ突如撤退スルニ至リタルヲ以テ因
地駐在當分領警察官モ同時引揚ケシメタル

在長春日本領事館農安分館

次即尤知其後ノ状況左記ノ通りニシテ未タ復
帰ノ見込立タサルモ遠カラズ農安附近ノ臥果
スル李海青軍モ擊攘セラルヘク思料セラル、付
其ノ後ノ模様ヲ見定メタル上復帰致シ度ク
此ノ儀即承認相成度ニ

記

農安附近ノ治安状況、関シテハ曩々長春田代領
事及本職ヨリ報告、次亦モアル知其後ノ情
況、関シ當分領警察、齋光情報ヲ綜合スル
李海青軍ハ今尚木杖餘隊下及管内長嶺
地方、蟠居臥果シ居ルト虽无之レ、対スル吉林軍
ノ討伐隊ヲトシテ進展セサルト一面城内、駐屯スル
陶海軍長官率領四百名ノ吉林軍ハ素質劣悪ニシテ

三級信託
一衝突事變關係
昭和七年六月廿日



0503

3576

8 1.1.1.0-8

3577

8 1.1.1.0-8

REEL No. A-0077

アジア歴史資料センター

機會がアラハ何時兵変ヲ起ラズヤニ計ラレサル灰色軍
 ナルニナラス警備區域内ニ於テ掠奪強姦等ヲ
 敢テスルモ後難ヲ怖レテ取締徹底セサル等方ハ
 城内ノ不安ハ未タ深刻ニシテ至ナル高店ハ今以
 テ閑居スルニ至ラス居住有力支那人ハ本月一日
 日軍撤退ト因時ニ長春ニ避難シタル兵
 今日ニ至ル迄復帰セサル実情ナル処更ニ今回
 背反セル馬占山軍ト匪賊李海青軍トノ間
 ハ完全ニ連絡ニ既ニ兩軍ノ一部隊ハ合同シテ官
 兵ニ対抗シ居リ之ヲ討伐容易ナラサルニナラス
 別ニ農安附近ニ出沒スル大小馬賊ハ常ニ長
 農街道ヲ脅カシ居ルト云々官兵ハ之等ニ対シ
 テ殆ント無関心ナルカ如キ状態ナル上兵匪ノ為
 馬足及農作物ノ種子等ヲ掠奪サレ播種期ニ
 入ルモ農耕ノ從事スルヲ得ザル数多農民ハ馬匪
 賊ニ加担シテ生活ノ資ヲ求メントスル傾向アル等
 今後李海青軍ノ行動如何ニヨリテハ農安及
 其附近ノ治安維持ハ又復多事ナルヘシトノ趣十
 リ

在長春日本領事館農安分館

本信字送付先

長春領事館

Δ 0504

3578

S 1.1.1.0-8

3579

S 1.1.1.0-8